

【速報】 スー・チー国家顧問ら拘束 36 日目のミャンマーの様子
～ヤンゴンから～

2021 年 3 月 8 日
ミャンマービジネスサポートデスク 西垣 充

ミャンマーから 3 月 8 日の状況をお伝えします。

①テレビ

国軍系放送、国営放送、民間放送については、2 月 2 日の状況通り。民間の大手衛星放送「SKYnet」では、多くの海外放送のニュースチャンネルが視聴できなくなっていますが、「NHK プレミアム」と「CCTV4」は視聴できます。海外放送もスポーツや音楽、映画チャンネルなどは視聴できます。

②光回線、WIFI、携帯電話データ通信は、2 月 15 日から深夜 1 時～9 時の間遮断されています。フェイスブック、ツイッター、インスタグラムなどの SNS は引き続き閲覧できなくなっています。

③電話その他通信関係

携帯電話の国内通話、国際通話は繋がりにくい状況ではありますが、いずれの携帯電話会社も通話及び SMS は使用できています。

④日常生活での支障

2 月 28 日から武力行使が激化したことから、抗議運動が激しい場所の店舗は休業にしている所が多いようです。ショッピングセンターの「ジャンクション」「ミャンマープラザ」などはしばらく休業するようです。大手流通小売り「City Mart」は、一部店舗のみ時短営業しています。宅配デリバリーサービス「FOOD PANDA」は宅配エリアを限定して 9 時～17 時営業、「GRAB FOOD」及び「GRAB MART」は 3 月 5 日は 9 時～16 時半で、宅配エリアを限定して営業しています。

一般のローカル市場及びコンビニエンスストアなどの多くは、時短で営業しているところが多いようですが、一般店は休業しているところが増えています。

中央銀行は市中銀行すべてに対し、ATM での一回の引き出し額を 50 万チャットまで、口座からの引き出し額を、一週間で個人は 200 万チャットまで、企業は 2000 万チャットまでと制限する通達を発表しました。市中銀行については、窓口業務は休止している所が多く、引き続き業務に支障が出ています。モバイル決済サービスの「Wave Money」は地方都市も含め一部送金が可能のようです。

ヤンゴン市では、20 時から 4 時までの夜間外出と、公共の場での 5 人以上の集会の禁止が発令されています。

⑤日系企業の対応

在宅勤務にしている所が多いです。

⑥公共交通機関

<国際線・国内線>

便数は少ないものの運航されているようです。

<バス>

抗議行動のため道路封鎖が広がっており、ルートを変更して運航、もしくは運休されているルートも多くヤンゴン市内バスは大幅に減便運航されているようです。

<タクシー>

一般タクシーは通常通りですが、台数は減っているようです。大手配車アプリ GRAB タクシーは、サービスエリアを限定して8時半～19時で営業しています。

⑦物流

国際宅配便 DHL は海外配送・着送について3月末まで休止したようです。EMS は電話が通じません。

国内物流については、前回報告通り、休業している所も増えていますが、業務を行っている会社もあり、国内物流は動いています。タイ国境などへの物流は動いており、タイ国境の税関は通常通りで、タイとの陸路輸送は問題ないようです。

港湾局は閉鎖され、海上輸送は止まっており、輸出入が出来ない状態のようです。

航空貨物は動いているようです。

⑧工場稼働状況

工業団地周辺で深夜、当局による制圧活動があったため、ティラワ工業団地内工場の多くは休業、ミンガラドン工業団地内工場は約半分程が、各社就業時間を配慮しながら対応しています。

【大阪産業局ミャンマービジネスサポートデスク】

受託事業者： J-SAT Co., Ltd. 代表取締役 西垣 充

#1210, 12A Floor, Sakura Tower, No.339,

Bogyoke Aung San Road, Kyauktada T/S, Yangon, Myanmar